

令和7年度

住民の健康を考える ～健康寿命を延ばすために～

日本人の平均寿命は、男女とも80歳を超えていますが、健康寿命との差は、男性で約9年、女性では約12年となっており、その間は、医療・介護等のサービスが必要な場合が多く、超高齢社会においては、健康寿命の延伸が喫緊の課題です。

この研修では、老いてもいきいきと自分らしく暮らせるよう、健康寿命を延ばすために有効性が高いと思われる施策等について、講義、事例紹介により学び、グループワーク等の演習を通して具体的に考えていきます。

開催要領

日 程

令和7年11月25日(火)～11月27日(木) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

住民の健康増進に関わる市区町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

11,750円左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年10月7日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和7年

11月
25日(火)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35

講義 健康寿命延伸に向けた地方自治体の取組と役割

滋賀医科大学実践看護学講座 教授 宮松 直美 氏

健康寿命延伸に向けた国の取組などについてお話しいただくとともに、地方自治体に求められる役割などについて、エビデンスに基づきご講義いただきます。

15:50～16:20

事例紹介 荒尾市のデジタルを活用したヘルスケアの提供について

熊本県荒尾市地域振興部スマートシティ推進室 参事 丸本 達也 氏

コーディネーター：滋賀医科大学実践看護学講座 教授 宮松 直美 氏

スマートシティ構想におけるヘルスケア分野での取組についてご紹介いただきます。デジタル技術を活用し、市民に健康的な行動変容を促すスマートヘルスケアサービスの提供に至るまでの経緯や苦労した点、その成果、今後の展望などお話しいただきます。

16:20～17:00

意見交換

熊本県荒尾市地域振興部スマートシティ推進室 参事 丸本 達也 氏

コーディネーター：滋賀医科大学実践看護学講座 教授 宮松 直美 氏

荒尾市の事例紹介を聞いた上で、受講者の皆さんの自治体の事例と比較し、受講者同士で意見交換、質疑応答を行います。

17:30～

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00～10:35

講義 行動経済学とナッジの健康づくりへの応用

～理論と実践～

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 特任助教／株式会社PONO 代表取締役 杉本 九実 氏

行動経済学・ナッジ理論の基本を学んだ後、ナッジ理論を活用した健康づくりの手法、健康寿命延伸に向けた取組等について、自治体等の事例を交えながらご講義いただきます。

10:50～11:20

事例紹介 狛江市の生活保護受給者への健診受診勧奨事例

～狛江市ナッジラボの庁内外連携～

東京都狛江市市民生活部納税課／狛江市ナッジラボ リーダー 田所 究 氏

東京都狛江市福祉保健部福祉相談課／狛江市ナッジラボ 永山 嘉秀 氏

コーディネーター：帝京大学大学院公衆衛生学研究科 特任助教／株式会社PONO 代表取締役 杉本 九実 氏

生活保護担当課とスタートアップの庁内ナッジチームが連携し、健診受診勧奨事業にナッジ理論を活用する実践事例について、これまでの経緯や成果など、お話しいただきます。

11:20～12:00

意見交換

東京都狛江市市民生活部納税課／狛江市ナッジラボ リーダー 田所 究 氏

東京都狛江市福祉保健部福祉相談課／狛江市ナッジラボ 永山 嘉秀 氏

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 特任助教／株式会社PONO 代表取締役 杉本 九実 氏

狛江市の事例紹介を聞いた上で、受講者の皆さんの自治体の事例と比較し、受講者同士で意見交換、質疑応答を行います。

13:00～17:00

講義・演習 ロジックモデルを活用した評価によるPDCA管理

～健康寿命延伸に向けて～

国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野 教授 埴岡 健一 氏

住民の健康アウトカムを向上させるために、地方自治体としてどのように取り組みを進めるか、体系的に学びます。

(講義)オリエンテーション／ロジックモデルと評価の基礎

(ワーク1)ロジックモデルを作ってみよう

(ワーク2)行政計画をロジックモデルに落として理解する

9:00～14:10

演習 ロジックモデルを活用した評価によるPDCA管理

～健康寿命延伸に向けて～

国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野 教授 埴岡 健一 氏

前日から引き続き、ワークを中心に、ステップごとに一緒に進めます。各ワークで、発表と質疑応答を行います。

(ワーク3)ロジックモデルと指標のデータを読んで地域診断

(ワーク4)ロジックモデルにある施策の優先度を検討する

(ワーク5)施策の年次評価をシミュレーションする

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和7年

11月
26日(水)

令和7年

11月
27日(木)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。